

活動完了報告

「原由莉子ウィーン世紀末シリーズ Vol.8 浄夜～シェーンベルクの肖像～」活動助成

原 由 莉 子

《報告および成果》

シェーンベルクの魅力を、お話と演奏でお伝えするコンサート。

前半は、彼の人生や人となり、交友関係についてのレクチャーを行い、シェーンベルク・ウェーベルン・ベルクのピアノソロ作品を演奏しました。

十二音技法・無調で書かれた、いわゆる「新ウィーン楽派」らしい曲は、「初めて聴く音楽だった」というお客様の反応が多く、こんな音楽もあるんだと刺激になっていれば嬉しいです。また、「解説のおかげで以前よりも作品が身近に感じられた」とのお声もありました。

後半は、ヴァイオリニスト渡辺紗蘭さん、チェリスト北垣彩さんと、ピアノ三重奏による『浄夜』をお送りしました。

メインの『浄夜』は、奏者それぞれの個性が光る熱演だったと思います。詩と音楽が融合した世紀末ウィーンの世界観を存分に味わっていただければ幸いです。

《今後の課題》

トークに熱が入りすぎ、兵庫公演では前半の上演時間が大幅に延びてしまいました。

タイムキーパーをつけるなどの対策をするべきだったと反省しています。

《その他》

関西在住の私からすると東京での公演は集客面で不安でしたが、関東在住の共演者お二人の知名度やご協力のおかげもあって、大勢の方にお越しいただくことができました。

また、SNS でしか面識のない関東のファンの方々にもご来場いただき、「やっと東京で聴けた!」「本物のはらゆりだ!」とうれしいお言葉をたくさん頂戴しました。

今回の東京公演をきっかけに、さらに全国的に活動していきたい思いがより一層強くなりました。

もっとたくさんの方に原 由莉子のピアノをお聴きいただけるよう、精進してまいります!

ヴァイオリン
渡辺 紗蘭
Violine/Sara WATANABE

原由莉子ウィーン世紀末シリーズ Vol.8

浄夜

Wiener Moderne Series
シェーンベルクの肖像

シェーンベルク: 浄められた夜 Op. 4 [ピアノ三重奏版]
Arnold Schönberg : Verklärte Nacht, Op.4

ベルク: ピアノソナタ Op. 1
Alban Berg : Sonate für Klavier, Op.1

ヴェーバーン: ピアノのための変奏曲 Op. 27
Anton Webern : Variationen für Klavier, Op.27

2024 **12/5** (木) 19:00 開演 (18:30 開場)

紀尾井町サロンホール

[〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-29 紀尾井町アークビル1F]

チケット 3,000円 全席自由 ※未就学児の入場はご遠慮ください

東京メトロ有楽町線「麹町」1番出口から徒歩約5分
東京メトロ有楽町線・半蔵門線「永田町」5番出口から徒歩約5分
東京メトロ南北線「永田町」9A・9B出口から徒歩約4分
東京メトロ銀座線・丸ノ内線「赤坂見附」D出口から徒歩約10分
JR中央・総武線「四ツ谷」麹町口から徒歩約15分
JR中央・総武線「市ヶ谷」徒歩約17分
都バス「平河町2丁目」停留所から徒歩約1分

チケット取扱い

■ メール予約

原由莉子ウィーン世紀末シリーズ実行委員会
hara.ticket@gmail.com

■ 電子チケット予約

PassMarket



チェロ
北垣 彩

Violoncello/Aya KITAGAKI

主催 / 原由莉子ウィーン世紀末シリーズ実行委員会 050-7110-3092
助成 / さわかみオペラ芸術振興財団 みんなの寄付

ピアノ
原由莉子
Klavier/Yuriko HARA



浄夜 ～シェーンベルクの肖像～



Selbstporträt
Arnold Schönberg

彼らの吐息はそよ風の中口づけ合い、二人は気高く輝く夜を歩いていく・・・

リヒャルト・デーメル詩「浄められた夜」に感化され、「初めて抒情詩に新しい音を探る必要に迫られた(デーメル宛の手紙より)」シェーンベルクは、その艶めかしい空気感がリアルに表現された弦楽六重奏曲「浄夜」を作曲しました。美しく、しかし狂気もはらんだその音楽は、ある種危険なエネルギーを抱えています。実際、当時のウィーンでも彼の作品は受け入れられ難く、聴衆の非難と批判を煽る「爆弾」として扱われました。

しかし、この曲の本質は、それまでタブー視されていた内容の刺激だけではありません。「一方にはワーグナー風の技法がある。活発なハーモニーの上に、ある定まった音型をのせる、ゼクヴェンツのような表現法。楽器の取り扱いの結果生まれる音響。もう一方にはブラームス風の展開的変奏技法。不規則な楽句構成は彼の影響である。そして、旋律の拡張、対位的展開、調性があいまいな箇所にはシェーンベルク風なものがみられると信じている。(シェーンベルク著「回想記」より)」と作曲家自身が述べるように、彼の音楽のアカデミックな面を考察する上でも見逃すことのできない意義深い作品です。ロマン派音楽の到達点に浸ってみてください。

とはいいつつも、やはりこの作品の最大の魅力は、聴く人の心を掻きむしる魔力だと私は思っています。音楽分野のみならず、絵画や文学にも共通してみられる「世紀末ウィーン芸術」の煌めきと仄暗さが交錯する世界観に溺れていただきたいです。

そんな「浄夜」の前にお届けするのは、まず「おお、これぞまさしくシェーンベルク!」といった、皆さんが思い描くイメージ通りのピアノソロ作品。同時に、彼の弟子であるベルクとヴェーベルンの作品も取り上げます。「新ウィーン楽派」の音楽語法に真っ向から対峙し、普段なかなか聴くことのない音響の電流に打たれてみてはいかがでしょうか。

シェーンベルク＝「無調」「十二音技法」と聞くと、どうしても奇天烈で近寄りたくない印象だけに支配されてしまいがち。ですが、彼の音楽もブラームスカ耕した楽都ウィーンの土壌で、同時代を生きたマーラーやシュトラウス、ツェムリンスキーらの影響をありのまま享受しながら花開いた、いわば「歴史の連続性」の上に成り立つ、かけがえのない遺産であり立派な伝統です。

さまざまな角度からスポットを当て、鮮やかに浮かび上がったシェーンベルク像に魅せられる夜を、私自身も心待ちにしています。

Profile



原由莉子 (ピアノ) Yuriko Hara, Klavier

ウィーン国立音楽大学大学院修了。イタリアで行われた第2回ヴィッラフランカ・ディ・ヴェローナ国際音楽コンクール、第5回タディーニ国際音楽コンクール優勝。欧州各地での定期的なリサイタルや、ハイリゲンシュタットの遺書の家でベートーヴェンのピアノソナタを演奏するなど、様々な演奏会に出演し研鑽を積む。ウィーン国立音楽大学内で演奏したE.W.コルンゴルトの室内楽作品はオーストリア国営ラジオで放送され、同作品についての修士論文が欧州全土で出版されている。C.ヒンターフーパー、C.トラキシラーの両氏に師事。大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)等のオーケストラと共演。現在、ソロ・室内楽問わず精力的な演奏活動と同時に、京都市立芸術大学指揮科にてコレベイトウアを務める。



渡辺 紗蘭 (ヴァイオリン) Sara Watanabe, Violine

2005年生まれ。兵庫県出身。相愛大学付属音楽教室修了。2022年第91回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位、併せて増沢賞、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞を受賞。第3回シンガポール国際ヴァイオリンコンクールセミファイナリスト。第25回松方ホール音楽賞、いしかわミュージックアカデミーIMA音楽賞受賞。また、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団と共演。TBSドラマ「さよならマエストロ」の音源、演奏指導を担当。使用楽器は、一般財団法人ITOHLより貸与されている1779年製のJ.B.グァダニーニ。これまでに、マウロ・フィラルド、現在、小栗まちは絵、原田幸一郎氏に師事。東京音楽大学付属高等学校を経て、東京音楽大学2年に特別特待奨学生として在学中。



北垣 彩 (チェロ) Aya Kitagaki, Violoncello

府立夕陽丘高校音楽科を経て、東京藝術大学器楽科卒業。同大学院修士課程修了。令和元年度文化庁新進芸術家海外研修員としてライブツィヒ音楽演劇大学大学院修士課程を首席で修了。第69回全日本学生音楽コンクール第3位。第24回姫路バルナソス音楽コンクール第1位及び池辺晋一郎特別賞など入賞多数。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、サントリーチェーンミュージックガーデン、霧島国際音楽祭、ラフォルジュルネ等多数の音楽祭に出演。日本演連リサイタルシリーズにて住友生命いずみホールにてリサイタルを行う。元新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員。これまでに故杉山実、林裕、安藤信行、山崎伸子、中木健二、P.ヘル、C.ギガー各氏に師事。

原由莉子ウィーン世紀末シリーズ

ウィーンという小さな街で異なるジャンルの芸術家たちが密接に関わりあうことによって文化的成熟を遂げた世紀末芸術を、お話とピアノ演奏で解説するレクチャーコンサート。美術と音楽の融合する世界を、ピアニストが言葉と音で語り尽くす!

本シリーズの概要動画『原由莉子ウィーン世紀末シリーズVol.0 ①～③』は、原由莉子YouTubeチャンネル内で配信中

- 2020.2.7 Vol.1 アルマの愛した芸術家たち
- 2021.2.23 Vol.2 ベートーヴェンフリース
- 2021.5.23 Vol.3 ピアノで聴くブルックナーの神髄
- 2022.1.25 Vol.4 ツェムリンスキーの系譜
- 2022.7.10 Vol.5 Oper!～ウィーン国立オペラ座の怪人たち～
- 2023.2.23 Vol.6 ブルックナーの遺したもの <東京公演>
- 2023.2.25 Vol.6 ブルックナーの遺したもの <大阪公演>
- 2023.10.7 Vol.7 ブラームス幻想

Yuriko Hara Infomation



Official Web Site [旧 Twitter] YouTube









